

神奈川県立藤沢支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	第4回神奈川県立藤沢支援学校 学校運営協議会		
開催日時	令和6年2月13日（火曜日） 午前9時30分～午前11時30分		
開催場所	神奈川県立藤沢支援学校 第二被服室		
出席者	運営協議会委員7名（本校校長を含む） 事務局教職員10名		
次回開催予定日	令和6年6月頃		
問合せ先	所属名 藤沢支援学校 副校長 電話 番号 0466-82-9413 ファックス番号 0466-83-3520		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
会議経過	<p>1 開会 (1)校長あいさつ (2)委員長あいさつ</p> <p>2 令和5年度学校評価 【学校評価部会】 1年間の取組状況 成果と課題 総括教諭から報告 学校評価アンケート結果 教頭から報告</p> <p>3 地域と協働した取り組みの報告【切れ目ない支援部会】 高等部作業班バザー 六会市民センター作品展 パラスポーツサッカー教室</p> <p>4 授業視察 小学部・中学部の取り組み 高等部の取り組み</p> <p>5 協議 学校評価(学校関係者評価) 令和6年度からの学校教育計画に向けて</p>		
意見聴取	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">意見・質問等</div> <p>○ 学校関係者評価</p> <p>①教育課程、学習指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器の活用について、保護者が「わからない」と言っている要因が、コロナ禍を越えオンラインで行う場面が減っていることにあるならば、授業参観等で利活用の場面を見せていくことが大切である。 ・ 導入される一人一台端末を、「子どもに力をつけるためにはどうしたらよいか」という視点で、活用の仕方を考える必要がある。 ・ 一人1台端末に向け、機器のメンテナンスの業務が増える。地域の得意な方の力を借りていくことも考えられる。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒が、楽しく通い、興味関心を持つことができる活動はとても良い。将来に向け希望のある子どもたちに、社会的に適応するための平均点をもとめるのではなく、一人ひとりのやりたいこと、得意なことを伸ばす視点で育てたい。 <p>③進路指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団生活のルール、基本的な生活習慣等、社会に出る準備として在学中に取り組みたい。 ・ 一生懸命取り組み、失敗して学ぶことは、学校も社会生活も同じである。「わかった・できた」の成功体験と、安心して失敗できる環境の中で、「わからない」「できない」ことを伝え、どうすればよいかを考える体験をバランスよくできるとよい。 ・ 特別支援学校のセンター的機能の取組について、校内の共有を進めることが重要課題である。 <p>④地域との協働について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サッカー教室、能の鑑賞等、新しい経験をして刺激を受けることは大切である。児童生徒が、勉強と、様々な経験をバランスよくできる仕掛けを工夫してほしい。 ・ 作品展示等、発表の場を地域に広げていくことは良いことである。児童生徒が展示場面を見学できるよう、地域でも工夫していきたい。 ・ 地域の行事は、休日開催で、授業の一環としては難しいかもしれないが、学校の取組の発表の場として、もっと協働した取組ができないか考えたい。 ・ 今年度新たに取組んだ学校だよりについて、「学校の様子を地域に分かりやすく伝えているか」という視点で、評価する必要がある。 <p>⑤学校管理、学校運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故、不祥事のない学校向けて、同僚性、ハラスメント等の研修に力を入れ、教員がお互いを慮り、安心して働くことができる環境づくりに努めてほしい。 <p>○ 令和6年度からの学校教育計画に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部ごとに、めざす姿を短い言葉で表現できると、職員間の共有や保護者等に分かりやすく伝えることができるのではないか。 <p>6 閉会</p> <p>(1)校長あいさつ</p> <p>「子どもたちにとって何が大事なのか」「何を大切にしていくなのか」を考える必要があること、「わからない」をふまえた上での「わかったできた」を積み重ねるバランス感覚という視点をいただいた。なにかに向かうことは大切なことだが、少し引いたところで振り返ってみることができた。また、人材活用、同僚性に関する研修等、いただいた意見を総合評価に反映するとともに、次年度の計画に活かしていきたい。</p>
<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度学校評価報告書（年間報告） ・ 令和5年度学校評価アンケートまとめ ・ 令和6年度からの学校・学部教育目標（案） ・ グランドデザイン（案）